

## 第6回別府のみらい検討会議概要

- 1 日 時 平成30年2月14日(水) 13時30分～
- 2 場 所 別府市公会堂1階 講座室
- 3 出席者 委員12名(総数21名) オブザーバー2名(総数4名)

### 4 報告事項

#### (1) 入湯税に関するお客様アンケート追加分の報告

配布枚数全910枚中386枚の回答で回答率は42.4%

#### (2) 北海道上川町の入湯税超過課税の状況について

事務局より、北海道上川町が平成29年12月議会で条例改正を行い、平成30年4月1日から250円に引き上げを施行することを紹介した

### 5 協議事項

#### (1) 「入湯税引上げに関する提言」についての確認

事前に委員及びオブザーバーに提言案の内容を確認していただき、出された意見・要望を元に出席者で確認作業を行った。

\*事前に委員より受付した要望等(提言案を修正した要望のみ記載)

##### ■委員より

会議で発言した内容を出来れば記載してほしい

内容：入湯税を払う側は、趣旨と用途が明確であればそれほど抵抗感はない。温泉資源保護に「貢献した」、別府温泉が元気になることを「応援した」という満足感が得られれば数百円は決して高くない投資である。単に税率を上げるだけではなく、領収書に別府温泉からの感謝状・表彰状のような印刷をする、あるいはポイント制度などコレクター的な楽しみを提供してはどうか。こうした“工夫”があると「うまいことやるね」と好感を持って快く払ってくれるのではないか

##### ■委員より

細かいことだが、文言を訂正した方が良いと考える

修正部分1ページ目 本文の3行目「幅広い部門から委員を集い…」→「委員を募り」

\*検討会議で委員より受付した要望等

・お客様アンケート結果に関し、「想像以上に入湯税引上げに協力したいという人

が多い」との記述があるが、設問の裏を返せば、使い道が明確であれば61.8%は反対だということ。数字をきっちり出さないと → 意見として挿入希望

- ・トップシーズンのイベントとは、何を指すか分からない
- ・入湯税超過課税分で新しいイベントをするなら、時期を考えないといけない
- ・今までやってきたことは、歴史的・地域的意味があり継続していく、そこに儲かる仕組みを作るとなると、相反することが出てくるので性格づけをしたほうがよい
- ・別府はみんなの王道を行かないといけない。1年でも2年でも協議をしたほうがよいという意見を入れてほしい → 意見として挿入希望

### <提言案確認作業まとめ>

提言書：1 別府のみらい検討会議の協議経過について

- ・【幅広い部門から委員を集い】を、【幅広い部門から委員を募り】に修正

提言書：2 入湯税に関する協議内容について

(1) 入湯税に引上げによる観光客現象の懸念について

- ・(第4回検討会議での意見)に、下記2点を追加する
  - 【・入湯税を払う側は趣旨と使途が明確であればそれほど抵抗感はない。温泉資源保護に「貢献した」、別府温泉が元気になることを「応援した」という満足感が得られれば数百円は決して高くない投資である。単に税率を上げるだけでなく、領収書に別府温泉からの感謝状・表彰状のような印刷をする、あるいはポイント制度などコレクター的な楽しみを提供してはどうか。こうした“工夫”があると「うまいことやるね」と好感を持って快く支払ってくれるのではないか。】
  - 【・別府は温泉地の王道なので短兵急に決めるべきではなく、使途や組織を明確にして2年ぐらい議論し、結論づけた方が結果として成功する。】

・(第5回検討会議での意見)に、下記1点を追加する

- 【・アンケート結果では、使い道が明確になっていればという条件で61.8%の賛成を得たが、逆に言うと使い方が明確でなければ61.8%は反対ということになるのではないか。】

(2) 引上げ部分の使途の明確化について

- ・【なお、意見には使途として不適切な例としてトップシーズンのイベント実施があげられたが、新しい組織では不適切な使途についても検討を行う必要がある。】を、【なお、意見には使途として不適切な例としてトップシーズンのイベン

ト実施があげられた。これ以外にも新しい組織では不適切な用途についても検討を行う必要がある。】に修正

### 議長よりまとめ

お客様アンケートの結果を市長に渡す。文言追加も含めて本日の取りまとめを議長に任せてもらうことで出席者の了承を得る。検討会議を欠席したときは次の会議に出席して意見を述べるようお願いする

## 6 意見交換（別府のみらい検討会議の今後の深堀事項）

### （1）広域観光（湯布院、千年ロマンほか）

- ・お金がかからず別府の知名度を上げる「別府湯布院温泉郷」のくくりの中で世界に広げていくことが大事。プレス発表するだけで効果がある
- ・今後別府は大きく変わるからこそ、その前に、地域の組織が交流すると広域観光が醸成する
- ・外国人に対するインフォメーションは、別府が由布院の分もしますと言えば、打ち合わせをして近日中からでも出来るが、パンフレット等を置く場所の問題と、最新情報をどうするかの問題がある。外国人のお客様は予測できない人数であり、お客様からの質問に全て受け答えするため2人勤務体制では足りず、人数増で対応している。更に年間予算がおよそ1千万円くらいあるとよいと思う
- ・広域連携は、どういうターゲットで対応するのか、欧州のお客様をターゲットとするなら、別府湯布院だけでは対応できない。ミッションで何を目指すか明確に
- ・海外のDMOは航空会社等にロビー活動等も行っている。採算の計算に繋がる実利の部分も議論すると建設的な意見になる

### （2）観光財源の使途

#### ・観光計画について

\* 観光戦略部長より別府市総合戦略について説明する

- ・提言書案に「残す、やめる、変える」のメリハリをつけた観光予算の有効な執行とあるが、取り入れてもよいものは、やってもいいと思う
- ・観光計画のやり方として、いろいろな団体でやっていることを整理して体系化していく帰納法型（例：京都市）と、あらかじめゴールを決めておいて、そのために何が必要かを分解していき計画していく方法、ロードマップ型（例：沖縄県）の2種類がある。別府市としてどのようなアプローチで観光計画を作るのか先に決めておくこと

#### ・協議組織・基金管理方法等について

・消防等入湯税の目的に合致する人はメンバーに入れておくべき。別府はまちあるきが盛んであり、そこに携わる人たちも入れておくべきでは。おもてなしの部分を担当するのは、まちあるきの方達である

・主体が民としたときに、私達主体で活発に話を進められるとよい。分類別にグループ分けして議論するワークショップ型も意見が出やすい。議員にもオブザーバーとして意見をもらえるとよい。未来に投資できることをやっていけるとよい

### (3) 今後の別府のみらい検討会議について

#### \* 事務局より説明

この検討会議は平成 29 年度で終了予定だったが、平成 30 年度も引き続き、深堀事項である協議組織、基金管理方法について協議していただきたいと考えているので、スケジュール等は事務局に一任していただき、メンバーはこのメンバーでお願いしたいことを依頼し、改めて各委員の意向を含めたご案内文書を送付することを説明した。また由布市の有識者をお招きし、話を聞く、意見交換をすることも提案した

### (4) その他に扱いたい事項

・徴収の問題として、お客様から入湯税を代理徴収し、計算しそなたら特別徴収義務者（旅館ホテル事業者）が自己負担しないといけない。普通に働いていると行政の下請けに見られる

→事務局より、市としてお客様へ入湯税の説明責任を果たしていないのではないかと反省し、お客様に入湯税と支払いについてご理解いただくために、5ヶ国語で案内文を作成し、別府市ホームページに掲載していることとお知らせした。徴収しやすい体制作りを目指し、今後はお客様に説明していく方法として、ポスター等でも周知予定

## 7 議長より

議長から市長へ入湯税引上げに関する提言書を渡すが、少数意見も市長に伝えたい。

## 8 事務局より

平成 30 年 2 月 16 日（金）15 時 30 分、別府市役所市長応接室にて、入湯税引上げに関する提言を、検討会議議長より市長へ提出すること、2 月 20 日に特別徴収義務者への説明会開催をすることをお知らせした

閉 会（16 時 15 分）